

鳥獣被害防止総合支援事業(鳥獣被害防止緊急捕獲等対策)の評価報告(平成27年度報告)

1 被害防止計画の作成数、特徴等

本市では、市内全域においてシカ、イノシシ等の鳥獣被害が発生しており、鳥獣被害防止計画を作成している。

2 事業効果の発現状況

本市では自治会、猟友会などの関係機関で構成する相生市鳥獣被害防止対策協議会を設置し、被害情報の共有や地元住民との連絡調整、被害防止対策の普及・啓発等を進めており、その結果、平成27年度のシカ・イノシシの被害金額及び被害面積は、いずれも鳥獣被害防止計画の目標値を達成している(4の表を参照)。

3 被害防止計画の目標達成状況

有害鳥獣捕獲では、猟友会が中心となり、年間にニホンジカ60~170頭、イノシシ70~110頭ほどの捕獲をおこなっている。銃班は主に4~6月、9~10月の週休日に活動を行い、わな班は例年被害の多い地域を中心に箱わなを設置。集落から新たにわな設置要望があれば、現場の状況を確認し、適宜対応を行っている。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	都道府県の評価	
										対象鳥獣	被害金額(千円、%)				被害面積(ha、%)					
											基準年の実績	目標値	実績値	達成率	基準年の実績	目標値	実績値			達成率
相生市	市内全域	H24~27	シカ、イノシシ	有害捕獲(シカ)	453頭	相生市			猟期外の有害捕獲としてH24~27においてシカ453頭、イノシシ376頭を捕獲。	シカ	3,210	2,247	325	300%	6.16	4.31	1.0	279%	捕獲の推進等の取り組みにより、市全体としては被害防止計画の目標を達成することができたが、一部地域については被害低減が進んでおらず、引き続き捕獲の推進等が必要である。	防護柵の設置とシカ、イノシシなどの捕獲活動の一体的な推進により、野生鳥獣による被害低減が着実に図られている。
		H24~27		有害捕獲(イノシシ)	376頭		イノシシ	5,313		3,725	1,523	239%	4.09	2.86	1.3	227%				
		H24		防護柵設置	4,520m							#DIV/0!				#DIV/0!				
												#DIV/0!				#DIV/0!				
												#DIV/0!				#DIV/0!				
									合計	8523	5972	1848	262%	10.25	7.17	2.3	258%			

注:被害金額及び被害面積の目標値については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

5 第三者の意見

コメント 防護柵の設置とシカ、イノシシなどの捕獲活動の一体的な推進により、野生鳥獣による被害低減が着実に図られており、引き続き継続的な取り組みを期待する。
(兵庫県森林動物研究センター業務部副部長 田口 彰)